

長女が一年生になった三十年近く前、わたしが今も住んでいる空堀商店街に近い路地では、毎朝、路地の角に十人近い小学生が集まって、集団で登校していました。どこの路地の角でもみられたこんな風景も、わが家の三人目の末っ子が一年生になった昭和四五、六頃から次第に子どもの数が少なくなつて、いつの間にか、個々で登校するようになりました。

けれども塾やお稽古事に行く子どもがまだまだ少なかったこの頃は、学校から帰ると同級生がおおぜい路地にやつきて、探偵ごっこやかくれんぼなどと、暗くなるまで駆け回って遊んでいました。

三人も子どもがおりますと、自然顔見知りの小学生が多くなり、学校帰りに空堀商店街で出会ったときは「おかえり」「ただいま」と挨拶を交わします。こんな元気で明るい、やんちゃな子を主人公にイメージして、わたしは末っ子が小学一年生になった頃より、ずっと童話を書き始めました。



絵本の作品は10月20日まで「からほり・さろん」にて展示中

明るく元気！ 空堀界隈の子どもたち

からほり新聞

第8号 (2005.10.3)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋にゴミは似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

ますます商店街を歩く楽しみが増えてきます。この夏の終わりに「世界で一番！ オリジナル絵本をつくりましょう（空堀まちなみ井戸端会主催）」というワークショップが開催されました。小学生の方たちも、お母さんや、友だち同士で参加し、そこにお年よりも加わって、和気あいあいの雰囲気の中、地元に住まいの山名勝講師の指導で、絵本作りがはじまりました。

参加した小学生の皆さんは、夏休みの自由研究として、この絵本を学校へ持っていったそうです。今、世間では「荒れている子どもたち」のことが、よく話題になっています。でも町の人たちみんなに見守られている空堀の町の子どもは、今も昔と同じく明るくて元気です。

児童文学作家・藤田富美恵

からほり伝言板

かみなり亭寄席 奇数月の第2土曜日午後6時30分より。会場：業年年金会館。出演：笑福亭一門ほか。問い合わせ：06-6768-3549

楓ギャラリー www.comint.ne.jp/kaede/ ▶10/4～16 小山格平・塚田章・高田節子展<紙の一期一会>▶10/18～23 岡田純子展<やまとの宙>▶10/25～30 芳田澁子展▶11/1～6 小原良江展<雲～空で起こるできごと～>▶11/8～13 広瀬護展▶お問い合わせ ☎6761-0388

「私たちでつくるグループハウス・宅老所」▶10月27日(木)午後2時から5時▶阿倍野区民センター▶資料代1000円▶最後まで地域で暮らそうをテーマに活動を実践されている方の対談です。

「美術サークル賑町展」▶10月24日～11月4日▶午前9時から午後5時▶中央区民ギャラリー(区役所ロビー)▶出品者：浅野正雄、浅野房子、岩本吉勝、水口留美、芝原ヒデ子ほか



高齢者外出介助の会 News

お年よりの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 【からほりさろん】
- 懐かしい映画の会 (毎月第1土曜日)
- お楽しみ会 (毎月第3土曜日)：12月はマリンバ、クリスマスミニコンサートを企画しています。
- 11月から食事を開きます。一人暮らしや食事作りが少し億劫になった皆様の参加お待ちしております。
- 11月9日・午前10時30分～参加費(材料代300円、光熱水費100円)
- バザー 10月25日～26日・午前10時～ 掘り出し物がいっぱいです!
- マリンバのコンサート 11月13日(日)ドーンセンター 午後1時30分～

「ヒューマンメッセージ・コンテスト2005」▶人権フォト募集▶人権エッセイ募集▶応募締切11月30日▶主催：社団法人大阪市人権協会▶詳しくは ☎06-6561-4922 http://www.ochra.or.jp/

特定非営利活動法人 高齢者外出介助の会とは？ お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助 (買い物、お墓参り、通院など)
- ②在宅支援 (家の修理、家具の移動)
- ③入院支援 (入退院時同行、洗濯、買い物など)
- ④生きがい作り講座 (童謡・唱歌を歌う会、絵手紙くらぶなど)
- ⑤大阪の文学を読む会 (学び)
- ⑥車椅子、シニアカー貸出
- ⑦「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。 大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階 (おとうぶ屋さんのおとなり) TEL&FAX 06-6764-4002 月～金(10:30～15:00) E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってください。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってください。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってください。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってください。

マリンバを楽しみませんか？

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。見学・体験(1回)大歓迎!! くわしくは高齢者外出介助の会でお聞きください。 指導：北口 桂

司法書士 干場悦子 (ほしほ・えつこ) 不動産登記全般/売買、贈与、相続登記など 会社の登記全般/成年後見、遺言書作成相談 中央区松屋町3番23号 第一松屋ビル772号室 桜井義浩司法書士事務所内 TEL.06(6764)0889 お気軽にお問い合わせ下さい。

直木三十五の「つと」

私が生まれて初めて聞いた小説家の名前は直木三十五だった。小学校の低学年だったろう。文化住宅ふう長屋の向かいに伯父が住んでいて、谷町六丁目の呉服屋の二番番頭をしていた。古手屋をしていた直木三十五の父君とは将棋指し仲間だったらしい。

「あんな。直木ミソゴというショウセツ家がおつてな。ドンドン屋のドン惣の息子や。これがワセダのブンシでな」

伯父は、火鉢の五徳の上にフラスコのようなカンピンをのせて酒を温めながらおいしそうに飲んだ。面白そうに、



「これが変わりもんでな。店番してても『薩摩緋みたいなもんおまへんか』と聞かれて、『みたいなもん、おまへん』と言いたった」「金持ちになったといふんで、東京へおやつさんが行つたら、ハイカラな洋館にふんぞり返つて、おやつさんはびっくりりして帰つてきよつた」

直木三十五には旧制新潟高校の教授だった兄がいたはずだが、「みたいなもん、おまへん」などの話がすべて直木三十五の伝説になつていったのも、彼の奔放な生き方が故郷で面白おかしく話題になつていったからだろう。上町台地は、芸事に寛容だった船場や島之内と違って中小の商工業者や労働者の住む、いわば下町だった。実用に繋がらない労働は公認されなかった。

直木三十五(なおきさんじゅうご)。本名植村宗一。一八九一(明治二四)年大阪市南区内安堂寺町に生まれる。桃園小学校、市岡中学校を経て早稲田大学中退。大衆文学に貢献した。文藝春秋社の菊地寛は直木賞を設けた。



ん、文学など縁もゆかりもないという振りをしたのは、直木三十五のありように学んだからだ。私の母は、うすうすは感じていただろうが、私が小説を書いていることは知らずに死んだ。直木三十五が日本の当時のいわゆる純文学に反逆し、大衆文学の境地を切り拓いたのも、彼が大阪の人間だったというだけでなく、貧乏を知り尽くした大阪の上町の人間だったからだろうと思う。

筆・硯 半紙 書道具一式
筆墨硯紙 玉林堂
〒542-0012 大阪市中央区谷町6丁目4-8 新空堀ビル1F
TEL 06-6763-0045 FAX 06-6768-4856
http://www.bell.ne.jp/gyokurin/

赤い羽根 共同募金 10月1日▶12月31日
地域の福祉、みんなで参加
●まもなく、10月1日～12月31日にかけて地域の福祉の充実に、共同募金運動が展開されます。みなさまのご支援ご参加をよろしくお願ひ致します。●募金のつかいみちを詳しくお知らせしています。ホームページをぜひご覧下さい。
http://www.akaihane-osaka.or.jp (赤い羽根おおさか)
■ご寄付は郵便振替で、大阪府共同募金会あて■
郵便振替 00990-8-220番 (手数料はかかりません)



ケラ子の介助日記 泥棒に追い銭…

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

今回は、さろんでのことで、

先日、講師を招いて、「認知症のお年寄り付き合おう」という話を聞こうと人が集まっていました。

そこへ、突然白髪混じりの長髪を束ねた初老の男性が入ってきて、「この近くに交番ありますか?」と聞きます。少し離れた所にあることを伝えると、その男性は、「財布を落としましたから、警察に届けようと思っただけ、それならもう一度探してみます」と、出ていかれました。

そして、しばらくしてから、再びやって来て「やっぱり無かった」と言います。私も財布を忘れて困ったことがあったので、「これ、大阪駅まで」と、事務所にあった地下鉄の乗車カードを差し上げました。話を聞くとその方は、「商店のコンサルタントをしているので、空堀の商店街を見に来た。」

ついでに、孫のお土産も…と言います。そして、姫路まで帰るとも聞いて、私はさらに2000円を渡しました。

しかし、後で冷静に考えると、???なのですか? その方を送り出す時、こちらの名刺は渡しましたが、むこうは名前も住所も言わなかった。

「寸借詐欺」と言うらしいのですが、どうやらこちらの心配と慈善心を利用していただけです。事実、その方からは今も連絡はありません。

さろんでは誰でも歓迎ですが、遊びに来られたお年寄りが、だまされ被害に遭われるのは、心が痛みます。でも、困っている人を助けられなかったり、「この人は助けてくれへん冷たい人や」と思われるのも悲しいです。

財布の口は堅く、心は柔軟でありたいですね。



車椅子から眺めれば

車いすです初めて博多に行き気づきました。新しい路線ができていて、これは掛け値無しに国内1バリアフリーが進んでいて、ホームと電車の段差や隙間がほとんど無く、車いすも高齢者も介助無しにスイスイ乗り降りできるのです。そして、博多の地下鉄にはもつと嬉しいことがあるのです。

それは旧い路線でもエレベータがメインの階段乗降口と並んで設置してあったり、歩道の真ん中にあるので、初めて行っても直ぐ分かる位置にあり、しかも改札まで近いことです。

大阪の地下鉄は車いす利用者が日本一多いように、使い易いのですが、エレベータを後で設置していったので、位置がとんでも分かり難い上、すぐく遠くにあることが多いのです。私達は「迂回率」(うかいりつ)と称して

街の車いすおじさんから② 高齢や障害のために車椅子生活になることは誰にでも起こるかも、そんなことになって気が付いたり考えたことを連載で。

いいますが、高齢者や障がいのある人を健常者より何倍も多く歩かすのはヘンです。

この違いがどうして起るのか考えてみると、どうも大阪ではただ作り易い所を作つていった結果なのではと思えるのです。

後でエレベータを設置するのは、多くの地権者や行政との交渉が必要で大変煩わしいことでしょうが、「無理して付けているから、迂回率が高くても仕方ない」では本末転倒です。

博多に行つて認識が変わりました。やれば出来るのでは、努力を怠つていただけでは?

担当者の意識が決め手なのです。利用者の視点で「あれば良い」から「だれにも使い易く出来ている」を目指し、大阪でも一歩踏み出して欲しいのです。

地域に根ざした真心のケアがモットーです。
(有)ライブ・ステージ(寝具の白石)
ケアサポート「陽だまり」 中央区上本町西3-3-24 ☎6767-1131
ディサービスセンター「陽だまり」 中央区上本町西1-3-17 ☎6767-1300
10/22(土)より2級ヘルパー養成講座開始
受講に便利!! 実習場所を中央区に限定しました。
ライブやお芝居、お楽しみもイロイロ!!

勝手にからほり 雑見ニュース

『直木三十五の新たな伝記出版』



大正末期から昭和初期、
大衆文学の旗手と賞され
た直木三十五（本名・植

村宗一）が、安堂寺町の
出身ということ、から
ほりの皆さんならご存知
ですね。
直木賞創設70周年にあ
たる今年、直木の甥の植
村朝音（つえむらとともね）
氏が、伝記本「直木三十
五伝（文藝春秋刊・税別
1714円）」を出版し
ました。
家賃18ヶ月分を滞納し

長堀交番だより

南警察署地域課では、
管内の各交番の交番だよ
りを毎月発行し無料配付
しています。町会の回覧
板と空堀商店街の中ほど、
惣菜店「いずみ」さんの
前で常時配付し
ています。



空堀地区の担
当交番は、長堀
通の「長堀交番」
だが電話相談は
06-6281

1234（南署代表）
相談ダイヤル06-69
41-0030へ。

「空堀地域では車上ねら
いや引ったくりが多く発
生しています。特に高齢
者・女性の方は、通院・
買物などで現金の入った
バッグを持ち歩く時は、
タスキ掛けにしたり、前
で抱え持つなどしてご注
意を。」と南警察署では
呼び掛けています。

快傑ーからほり人

快傑ファイル其の七

懐かしい駄菓子、酢こんぶの老舗

都こんぶ本舗主人 箕浦 肇さん

甘酸っぱくて噛みしめるほど、うま味が口の中に広がる懐かし
いおやつ酢こんぶ。赤いパッケージでお馴染みの、あの「都す
こんぶ」の製造元は、実は瓦屋町にある。大阪が天下の台所と
して栄えた頃から、昆布を商っていた老舗「都こんぶ本舗」の
ご主人、箕浦さんにお話を聞いた。

江戸の頃、北海道の昆布を積
んだ北前船は天満橋に集まり、
周囲は昆布を商う商家が沢山あつ
た。箕浦さんのところも、そん
な昔から続く昆布加工や卸をす
る業者だ。

都こんぶ本舗という屋号の由
来は、「都さん」が、代々昆布



の卸業を営んでいたから。「そ
の都さんの家に、跡継ぎがなく
なって奉公人に事業を引き渡し
たんですが、実はその奉公人が
私の祖父やっただんです」と、箕
浦さん。
そして、松屋町の駄菓子問屋
を相手に、酢こんぶの卸をする
ようになり、瓦屋町にやって来
た。お馴染みの赤いパッケージ
の「都すこんぶ」が登場したの
は、箕浦さんの父の代からだ。
戦後流行った「ハリスガム」を
ヒントに開発した。ポケットに
携帯できる利便性と、ハイカラ
なパッケージが受けて、大ヒッ
ト商品となった。「わたしの小

学生の頃が最盛期。女工さんは、
30人以上抱えてました」。
しかし、時代の流れとともに、
洋菓子やスナックに押され、大
阪万博以降は縮小する一方…。
今では、伊丹空港と関空の売店
と、数件だけの販売となって
しまった。ちなみに、駅の売店
などでよく見る「都こんぶ」は、
中野物産という堺の会社の製品
だ。「ウチとは全く関係ありま
せん。よう間違われませうね」。
箕浦さんが、この家業を継い
だのは昭和42年。外語大学卒業
後、通訳の仕事を始めだったが、
「お前が継がんと家業が絶える」
との父親の説得で、この道に入っ
た。以来、40年近く暖簾を守り
続けてきたが、「実はもう、都
すこんぶはやめるんです。次の
注文が最後」。
家業の灯を絶やすまいと奮闘
を続けながらも、「何か他に、
エ工商売はないか…」って、ずつ
と考えてました。10月中には、
ここの工場もたたんで、八尾に
引っ越しをする。そこで、ダシ
昆布の加工と卸をしながら、漆
器の小売りを手がけるらしい。



（高田次郎）

た極貧時代や、雑誌編集
者となり、映画製作を手
がけた関西時代など、青
年期からの生涯を描いて
います。
新たな資料や証言から、
客観的にその人物像を掘
り下げながらも、文中で
は、「宗一」と名前で呼
ぶ距離感が印象的な伝記
です。
安堂寺町の隆祥館書店
さんで扱っています。

修景工事完成物件の紹介

空堀 第1号!

HOPEゾーン事業

▼屋根
和瓦の置き替え。

▼外壁
漆喰塗り風焼杉板貼り。

▼開口部
木製の面格子や手摺の設置。
新たに作ったカレージには、
木製の格子戸を設置。

▼その他
クローラー室外機や設備メーカーも目立たないよう格子で囲う
裏の木製物干し台もリノベーション。

修景前

修景後

まちなみ修景補助制度や、
HOPEゾーン事業に関する
お問い合わせは…
大阪市北区中之島1-3-20（市役所6階）
大阪市住宅局企画部住環境計画課
TEL (06) 6208-9621
(06) 6208-9622

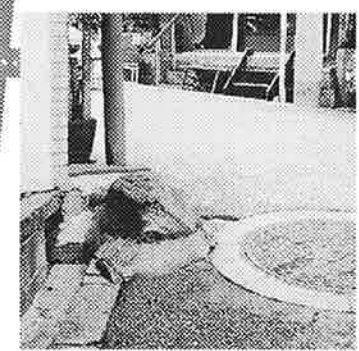
か ら ほ り 界 隈 お 散 歩 M A P

~其の8 「まちかどの石に目を向けてみると…」



からほり・さろん
高齢者外出介助の会

□ まちかどの石の分布 ※表通りにあるものだけの分布図となります



① 蛇行した道で車から家を守ります



② 柵を設けて大切に祀られています

からほり界隈を歩いてみると、まちかどに石が置かれているのを目にすることがあります。普通に歩いていたら見過ごしてしまいそうな、そんな石にスポットを当ててみました。少し視線を下げて歩くと、比較的よく見つけられるこうした石には、「角石(かどいし)」、「石敢当(いしがんどう)」、「道標(みちしるべ)」、「百度石(ひゃくどいし)」などがあります。今回はその中でも「角石」、「石敢当」に注目してみました。

「角石」は家と通りの角に置かれ、車や人が石を避け離れて通るようにすることで、家を守る役割を果たします。大通りから少し入った、比較的細い道や、蛇行した道でよく見かけられます。「石敢当」は、宗教的な意味合いが強く、家の守り神として、大切に祀られていることもあります。前号のからほり新聞でご紹介した鍾馗(しょうき)さんや、沖繩のシーサーに近い意味合いのものでしょう。地蔵・社の近くに「石敢当」が置かれていたりすると、そこは何か特別重要な場所なのではないかと想像が膨らみます。「角石」、「石敢当」のどちらも、建物

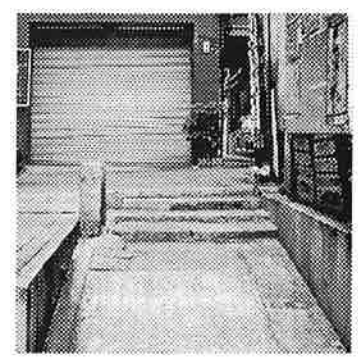
や家族を守るためのものであることには違いありません。

「角石」、「石敢当」の置かれ方は様々です。地面に埋まっているもの(①)、地面に置かれているだけのもの(③)、建物の壁と一体になっているもの(④)、並んで置かれているもの(⑥)などなど。また、家によっては、石の上に植木を載せたりして、玄関先の飾りとして利用しているところもあります(⑤)。

家が取り壊された後、石だけが変わらず残っているところもあります。少し寂しそうなその石を見ていると、ここには、かつてどのような家が建っていたのだろうと考えてしまいます。

「角石」、「石敢当」はからほり界隈に多く分布しています。今回ここで紹介したのは、そのごく一部です。是非実際に歩いて、お気に入りの「角石」、「石敢当」を探してみてください。

(山添晋太郎)



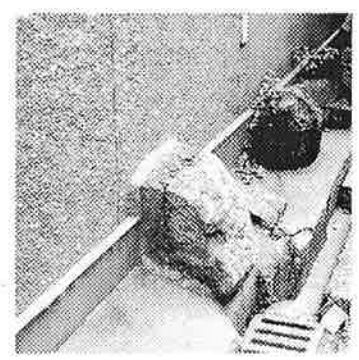
⑦ 商店街を守るように石が設置されています



⑧ 家を守るように、並んで置ける様は美しくもあります



⑤ 石の上に植木を飾っている家もあります



④ 石と家の壁とが一体になっています



③ 無作為に置かれたように見えるものもあります